

ファブデッキ

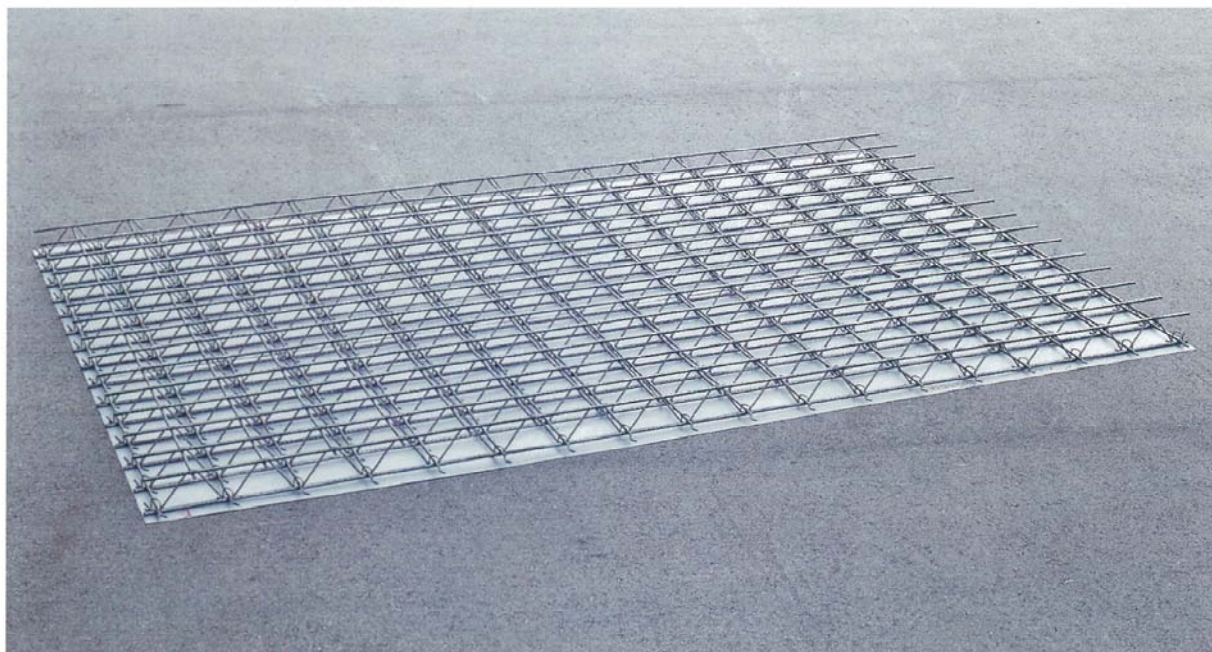
特許第800736号 他
意匠登録第501944号 他



■ ファブデッキ工法とは

床用の鉄筋と捨型枠を一体化して、工場で規格量産化されたFABB-DECK（捨型枠付版状立体溶接鉄筋）を現場敷込みすることにより、型枠工事と鉄筋工事が同時施工できる画期的な床の新工法です。

ファブデッキ工法の特長



1. 工期の短縮

- ・型枠工事と鉄筋工事が同時施工となります。
- ・サポートは原則不要ですから複数階の同時施工、上階の先行施工や他工種の同時作業ができ、コンクリート打設後の型枠解体がありません。
- ・現場での工数が少なく単純作業ですみ、短期間で仕上がります。(5人1組で1日200~300m²)

2. 高い施工精度

- ・配筋精度が極めて高く、コンクリート打設まで乱れることがないので、ご設計通りのスラブ性能が確保できます。
- ・正確なコンクリートかぶり厚さが確保できます。
- ・ひびわれ制御、振動、遮音等にも優れた効果を発揮します。

3. 工事管理の合理化

- ・省力、プレハブ化、工事量の軽減、施工偏差の解消等工事が合理化され、管理が簡素化されます。
- ・作業性がよく安全です。ファブ鉄筋は格子状に極めて堅固に溶接組立てされており、作業床、安全床として利用できます。

4. 総合的なコストダウン

- ・工期の短縮、全体工事量の軽減、現場経費の軽減等により工事費の低減が図れます。
- ・ファブデッキの型枠はフラットな鋼板ですからデッキプレートに比べ、コンクリート・ロスがなく又階高も少なくすみます。
- ・原則サポート無しで仮設費が軽減されます。

5. 広い用途

- ・S造、SRC造、RC造の厚さ12cm以上の一般構造床に使用できます。
- ・地組工法、SRC造の先行敷込み等にも適しています。
- ・インテリジェントビル向けには専用フロアダクトを使用したFDフロアシステムがあります。
- ・既設計案件もファブデッキに転換できます。

6. 環境にやさしい (ISO14000対応)

- ・合板型枠やサポート材を使用しないため、建築廃材が少なくなります。
- ・柱部等の切り込みも工場で加工するため、現地での切断が不要となります。